

## 本時のねらい

- ・言い方により、うまく伝わらないことや誤解が生じる場合があることに気づく。
- ・相手に伝わる伝え方について考えることができる。  
(・自立活動の区分(6)コミュニケーション 関連項目(2)言語の受容と表出に関すること)

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・必要に応じて、他の学級児童の提出物を閲覧することで、自分の考えに生かす。
- ・発表の様子を動画に残し、発表に対する意見を考えるときに利用する。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ビデオ機能
- ・ロイロノート

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてを確認する。</li> <li>「相手につたわるつたえ方を考えよう」</li> <li>・今までに伝えようと思ったことがうまく伝わらなかったことがなかったか思い返す。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【写真1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり直しや、複数のアイデアの記入をしやすいようにタブレット上でワークシートを用意する。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように伝えればいいのか、タブレットで送られた絵に言葉を書き加える。</li> <li>・考えた言葉を発表し、動画で記録する。 例：「あとで」ではなく、具体的に「何分後に」と伝える 等</li> <li>・お互い考えた言葉で、良かったことを考える。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【写真2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入力が苦手な児童に配慮し、それぞれがやりやすい方法で記入させる。</li> <li>・必要に応じて、他の学級児童が提出した成果物も参考にする。</li> <li>・動画で記録しておくことで、あとから良いところを見つけるときに見返せるようにする。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の設定場面だけでなく、相手に伝えるうえで大事なことをみんなで出し合う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことを伝えることができていたか動画を見返して考える。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 今日の課題の確認



【写真2】 各自が考えた「伝える言葉」を発表、動画で記録



【写真3】 動画で見返して良かったところを考える

## 児童生徒の反応や変容

- ・タブレット上でワークシートに記入することで、手書きやキーボード入力などそれぞれの児童のやりやすい方法を選択できた。
- ・他学級の児童の意見を見ることで、自分の考えを出しづらいう児童も、よいと思った点を組み合わせる等して、自信をもって取り組んでいた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・自立活動の教材に国語の教材を活用することで、交流学級の児童とのつながりができ、交流場面での共通の話題になるなど、関係を深めることにつながることができた。また、ICT機器を活用することで、学習する場所や時間が違ってそれが可能となった。
- ・空欄の内容を考える活動は、見ただけでは取り組みづらい児童もいるため、他の児童の考えを自由に見ることができるようにした。そうすることで、スムーズに取り組んでいた。また相手の発表を動画に記録することで、相手に伝える上での大事なポイントや良かったところを繰り返し確認でき、自分の意見をもたせることができた。